



学校によってはクラブ室の確保が難しい状況だが、今後も条件の許す限り、敷地内での開設に努めていきたい。学校の新築、改築等校舎の再配置の際は敷地内の開設を検討していく。

**日恵野佳代** (無党派・日本共産党)

**防災資機材の備蓄状況は**

**問** 地震・台風・豪雨等、大災害が増えている。

蒲郡市でも停電が起きた。市民意識調査で市に力を入れて欲しい防災対策の回答のトップに、「防災資機材の備蓄」があるが、どのように取り組んでいるか。

**答** マット、ランタン、ブルーシート、タオル、衣類などを新たに備蓄した。

**屋内型市民プールの設置は**

**問** 今年の夏も熱中症の危険があるとして、各小学校のプール開放が中止となった。市の子育てCafeワークショップでも市民プールの再開を望む声が多い。安全な屋内型市民プールを設置するよう求める。

**答** 市民プール代替事業の中央小学校のプール開放を、台風接近のため2日中止し、熱中症の危険があったため、午後からの利用を9回中止した。また、各小学校のプール開放は、一人当たり平均5・8日とあった。屋内型市民プールについては、直ちに設置する考えは持っていない。

**尾崎広道 (自由クラブ)**

**旧形原公民館 (現西部防災センター) について**

**問** 耐震診断と建物の今後について伺う。

**答** 耐震診断は行っていないが、旧耐震基準で建



西部防災センター

**工事入札について**

築されているため、耐震性能はないと考える。建物は早期に取り壊したい。

**問** 平成30年度と令和元年度の建設工事の入札不調件数は。

**答** 平成30年度は6件、令和元年度は8月末時点で3件である。

**問** 不調となる原因をどう分析しているか。

**答** 案件ごとに様々な要因が考えられるが、技術職員の不足を理由に辞退す

る業者の増加を感じている。

**建設関係業者による大規模災害後の対応は**

**問** 大規模災害後の市内施設の復旧について、建設関係業者からの支援体制はどうなっているのか。

**答** 市と各種団体とが協定を締結し、災害復旧への協力体制を築いている。

**大須賀林 (自民党市議員)**

**体育施設の使用料について**

**問** 近隣他市の市内・市外の料金区分は。

**答** 豊橋市と豊川市は市内・市外の料金区分を設けていない。新城市、岡崎市、西尾市は、市外の方は1・5倍、田原市は2倍の使用料を設定している。

**さがらの森の管理運営について**

**問** 市が施設管理を委託しているさがらの森もりクラブの業務について伺う。

**答** 施設の施錠・開錠、さつき広場の除草、遊歩道等の補修、ササユリ群生地での除草や保護のほか、自主的に草刈りや樹木の名札付けなどの環境整備を行っている。

**問** 市の支援策について伺う。

**答** さがらの森もりクラブは平成17年4月に発足した団体であり、メンバーの高齢化も承知しているが、市とは委託契約の関係にあるため直接的な支援は難しい。希望があれば関連施設におけるメンバー募集のチラシ掲出や、委託内容の見直し等が可能と考えている。



さがらの森